

自分への挑戦！

網田小学校 6年 北里 小春

みなさんは、今の自分に自信がありますか？

5年生までの私は、たくさんの人の前に出たり発表したりすることやみんなをまとめたりすることがすごく苦手でした。それは、『間違ったらどうしよう。』と不安になるし、自分に自信がもてなかったからです。何かをするとき、どこか手を抜いて他の人に頼ってしまい、誰かがやってくれるだろうという気持ちで過ごしていました。一生懸命することは大切だと思ってはいましたが、『自分だけが目立ってしまったら恥ずかしいなあ。』と思い、声も小さく、人前に立っても自分の考えをきちんと人に伝えることができませんでした。

しかし、5年生の3学期、私は、『4月から6年生になるのに、果たして今のままでいいのだろうか。これからは、みんなを引っ張っていけるリーダーになりたい。網田小の中心となってがんばりたい。』という思いがだんだんと強くなりました。そして、勇気を出して児童会長でもある運営委員会の委員長に立候補することにしました。「自分への挑戦」のスタートです。

4月。私は6年生になり、新しい気持ちで新学期を迎えました。網田小学校を引っ張る運営委員は、毎月我的生活目標や人権を大切にする取り組みなど、学校をよくするために活動しています。また、児童集会の計画・司会進行も私たち運営委員の仕事です。

5月になり、学校行事の中でも大きなイベントの一つである運動会がありました。

最高学年として学校の中心になってみんなを動かさなくてはなりません。運動会の係決めをするとき、私は、『応援団の団長をやってみたい。だけど今の私には、無理かな…。』という気持ちと『小学校最後だし、どうせやるなら先頭に立って、みんなを引っ張っていきたい。』という気持ちの両方が頭の中をかけめぐりました。特に今年は、中学校や地域と合同の特別な運動会です。「運動会を成功させるために、私も力になりたい。お姉ちゃんも中学校で応援団長になったから、困ったときは相談できる。」そう思い、私は団長になることを決心しました。

家に帰って団長になったことを父や母に伝えと、『お姉ちゃんと一緒に頑張つて！』と喜んでくれました。

その次の日から、応援団のメンバーと毎日話し合い、練習をしました。最初はなかなかうまくいかず、心が折れそうになることもありました。でも、練習を重ねるうちにみんなの心が一つになっていくのを感じました。応援合戦の他にも下級生を並べたり準備や片づけをやったり、できることは何でもやりました。

時々『きつい。面倒くさい。もうやめたい。』と弱音を吐きたいこともありました。が、応援団のみんなが、『小春ちゃん頑張ろう、あと少しだよ。最後までやりきろう！』と励ましてくれたので、やる気が出てきました。みんなの協力のおかげで、運動会を全力でやり切り、成功することができました。団長をやって本当によかったと思えました。

また、団長を経験してみて、一生懸命することや協力することの大切さに改めて気付くことができました。

運営委員長、応援団長としてやっていく中で、みんなをまとめていくことがいつの間にか好きになっている私がありました。5年生の頃まで他の学年の人とは自分からうまく関わるができなかったのに、自然とできるようになっていました。授業中も毎時間、自分から手を挙げて意見が言えるようになりました。

6年生になって約4か月が過ぎ、毎日とても充実した生活を過ごせていると感じています。そして、大きく成長した気がします。同じクラスの友達もいろいろなことに挑戦し、目標に向かってがんばっています。みんな進んで委員会の仕事をやったり下級生と一緒に遊んだりして、優しい人たちばかりです。私は、これからも自分に自信をもち、いろいろなことにチャレンジしていきたいです。

みなさんは、今何かやってみたいことがありますか。以前の私のようにやりたいことがあってもなかなか勇気が出ない人がこの中にもいるかもしれません。でも挑戦することで、きっと自分自身が大きく成長できるはずです。そして、満足感を味わえるはずです。みなさんも自分への挑戦をしてみませんか。ぜひ、一步を踏み出してみてください。